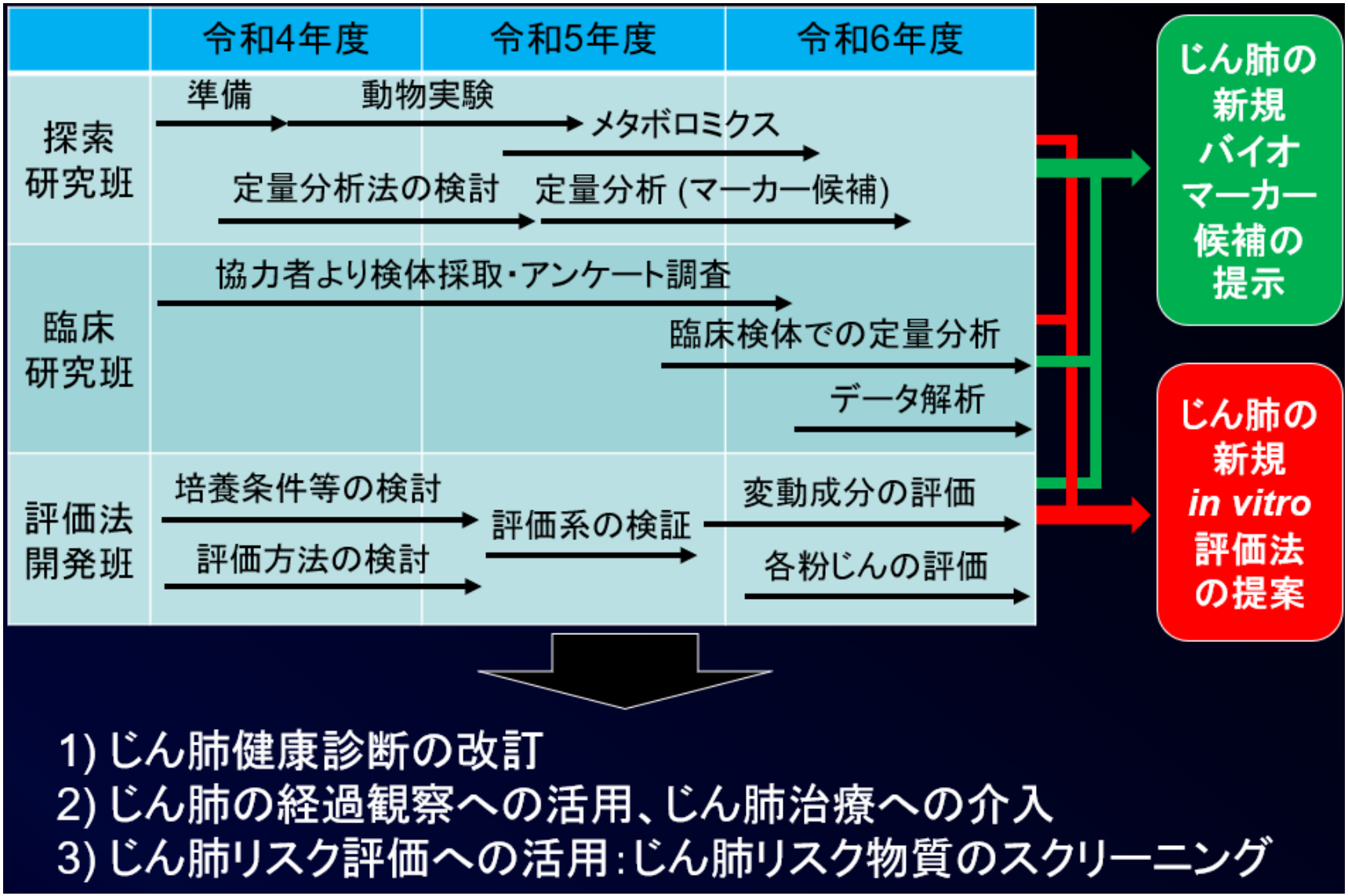
じん肺の新規バイオマーカーおよび迅速評価法・治療法の開発に向けた探索的研究

【研究概要】

じん肺とは、じん肺法で「粉じんを吸入することによって肺に生じた線維増殖性変化を主体とする疾病」と定義される代表的な職業性肺疾患である。根本的治療法は未だ確立されておらず、さらに近年では、粉じんを取り扱う職種や粉じんの種類の変化等によって病態自体が複雑化・多様化していることもあり、じん肺を正確に診断できる臨床医が限られていることが問題となっている。

本研究では、動物モデルを用いたじん肺の早期及び進行期に関連するマーカーの探索、臨床検体を用いたじん肺マーカー候補の妥当性の検証、ならびにじん肺の in vitro 迅速評価法の開発に取り組み、じん肺の新規診断マーカーや進行度を予測するマーカーの創出並びにじん肺リスクを迅速に評価できる手法の構築を最終目的とする。



1) じん肺健康診断の改訂
2) じん肺の経過観察への活用、じん肺治療への介入
3) じん肺リスク評価への活用:じん肺リスク物質のスクリーニング